

給水支援

派遣先 石川県 七尾市

派遣期間 ①1月12日～17日 / ②2月5日～10日

派遣者 1班4名体制 計2回支援



支援内容

海上保安庁の船や消防栓から補水し、直接住民への給水活動や福祉施設等の受水槽へ加圧式給水車で送水を行う作業

被災地域の様子

給水支援をした七尾市は、石川県企業局がきれいにした水を約110km離れた石川県白山市から金沢市内を經由して受水しているため、市内全域で断水が発生していました。給水場所である学校やコミュニティセンター、病院、福祉施設に多くの皆さんが水を求めて来ていました。

－水は非常に重要です－

水は、飲み水の他に手洗いや体を拭くなど衛生面でも使用するため、とても重要になります。被災直後は、少ない水でも仕方ないですが、時間が経過すると家庭で使う量は多くなります。この震災を他人事とせず、今一度家庭での備蓄の見直し、必要となる物品の用意をしましょう。

下水道災害支援

派遣先 石川県 津幡町

派遣期間 ①1月14日～1月20日 / ②2月1日～2月6日 / ③2月20日～2月25日

派遣者 1班2名体制 計3回支援



支援内容

下水道管内にテレビカメラを入れ、管内状況を確認し、下水道管の被害状況を判定する作業



－下水道が使えない場合に備えましょう－

下水道は、地震対策事業として施設の耐震化を進めています。しかしながら、地震による地盤変動により下水道施設が想定を超えて被災し、下水道が利用できないこともあるかもしれません。各ご家庭でも、携帯トイレ、簡易トイレなど準備するようにしましょう。

被災地域の様子

下水道被災状況は、被災から2ヵ月以上経過した現在も全貌がつかめておらず、特に、珠洲市、輪島市、能登町が遅れています。支援を行った津幡町は、震度5弱を記録し、液状化危険度が低い土地でしたが、総延長の約9%にあたる約19kmが被災しており、本格的な復旧まで数年かかることが想定されています。

地震に備えましょう

市内には地震発生の確率が高い糸魚川-静岡構造線断層帯が横断しており、大規模地震発生に対する備えが必要となります。自助・共助・公助が一体となって災害に備えましょう。

家庭でできる防災対策【自助】

- 家具や家電製品はその場に合った固定用具で正しく固定しましょう。
- 寝室や子ども部屋等には倒れてくる家具を置かないようにしましょう。
- ガラスには飛散防止フィルムをはりましょう。
- 避難先、災害時の連絡要領を話し合っておきましょう。
- 非常持出品は、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 毎日飲まなければならない薬など、あなたにとって必要なものは何か。それぞれの家庭で考えましょう。



地域でできる対策【共助】

災害が発生したときには、地域住民が互いに協力して防災活動を行うことが重要です。自主防災組織は、自分たちの地域を自分たちで守るため、主に区、自治会単位で組織された共助の中核組織です。お住いの地域の防災訓練に積極的に参加しましょう。



特集

能登半島地震の被災地支援

令和6年1月1日、石川県能登地方でマグニチュード7.6の「令和6年能登半島地震」が発生しました。茅野市では、被災地支援のため、県・市町村で編成する「チームながの」により、要請のあった石川県羽咋市と輪島市への支援を行っています。また、日本水道協会等からの支援要請に応じた職員派遣などの被災地支援に取り組んでいます。

今月の広報紙では、被災地支援に携わった職員からお聞きした現場での支援内容や被災地の様子、これからの備えなどをお伝えします。(3月31日時点)

避難所運営支援

派遣先 石川県 輪島市

派遣期間 ①2月8日～2月13日 / ②3月15日～3月20日

派遣者 各2名 計4名



支援内容

避難者の見守り、物資の管理・受け入れ、避難所内の見回り・換気、炊き出し等の運搬・配食など、避難者の生活支援



－住民の自主運営が望ましい－

発災から約1ヵ月が経過していたため、避難所の体制は整っていました。ダンボールベッドによって一人ずつの居住スペースが確保されていたり、予約制でシャワールームを使用することができる状況でした。また、避難者用の物資も揃っており、避難者は自由に持っていくことができていました。しかしながら、共同生活において、他人の生活音や生活リズムの違いなどによりストレスを感じている方がたくさんいました。避難者は皆、それぞれ課題を抱えて集まってくることを避難者自身も支援者も理解し対応すること、住民による自主運営の重要性を感じました。



街の様子

輪島市内は倒壊家屋が多数あり、特に瓦屋根の住宅に被害が多く見られました。崖崩れや道路のいたるところに亀裂や沈下・隆起もあり、片側通行になっている場所や、通行不能な橋も多数ありました。

廃棄物処理支援

派遣先 石川県 羽咋市

派遣期間 ①1月11日～1月17日 / ②1月25日～1月29日

派遣者 各1名 計2名



支援内容

地震によって発生した災害廃棄物仮置き場内の誘導と荷下ろしの補助など



－人手不足－

発災直後は人手も足りておらず、人的支援により、被災自治体の負担軽減を図ることが重要だと感じました。

－災害の対応をしている皆さんも被災者－

羽咋市職員は元日から休みなく災害の対応に追われ、疲れが溜まっていました。2週間後に「ようやく休みが取れたので家の片づけをしている」と、ゴミの持込みをしている職員がおり、職員自身も被災者ということ認識しました。